

◆ 文献抄録

Association between patient-surgeon gender concordance and mortality after surgery in the United States : retrospective observational study

Wallis CJ, Jerath A, Ikesu R, et al.

BMJ 383 : e075484, 2023

背景：術者と患者の性別一致と手術成績の関連はいまだ不明である。カナダのオンタリオで行われた研究から、術者と患者の性別一致と手術成績に関連があることが報告された¹⁾。今回、米国の大規模なデータベースを用いて、術者と患者の性別一致と手術成績の関連を検討した。

対象と方法：米国 Medicare Data on Provider Practice and Specialty (MD-PPAS) を用いて 2016～2019 年に 14 主要手術が行われた 65～99 歳の患者を後ろ向きに調査した。14 術式は腹部大動脈瘤手術、虫垂切除術、胆嚢摘出術、結腸切除術、冠動脈バイパス手術、人工膝関節置換、人工股関節置換、子宮摘出術、椎弓切除術/脊椎固定術、肝切除術、肺切除術、前立腺全摘除術、根治的膀胱全摘除術、甲状腺摘除術であり、男性術者+男性患者、男性術者+女性患者、女性術者+男性患者、女性術者+女性患者の組み合わせに関して、主要評価項目として術後 30 日死亡、副次評価項目として 30 日以内入院、入院期間、30 日以内合併症、合併症後の早期救済不可に関して統計学的に検討した。

結果：手術が行われた 2,902,756 例の患者を対象とした。1,201,712 例 (41.4%) が男性術者+男性患者、1,561,967 例 (53.8%) が男性術者+女性患者、52,944 例 (1.8%) が女性術者+男性患者、86,133 例 (3.0%) が女性術者+女性患者であった。術後 30 日死亡はそれぞれ 2.0%, 1.7%, 1.5%, 1.3% であった。全体の 30 日死亡率は 1.7%, 待機手術では 0.7%, 非待機手術では 5.4% であった。術者と患者の性別一致による 4 群分類後の比較で、女性術者+女性患者の 30% 死亡率が 0.4% と最も低かったが、臨床的に意義のある差ではないと考えられた。非待機手術では

30 日死亡と性別一致の関連を認めなかった。副次評価項目に関しては、術者と患者の性別一致との関連を認めなかった。また、術者性別と手術成績の関連検討においては、待機手術において女性術者は男性術者よりも 30 日死亡が少なかった。さらに、女性患者は男性患者と比較し、待機手術、非待機手術ともに予後が良好であった。

結論：術後 30 日死亡は女性術者と女性患者の組み合わせで最も低かったが、臨床的に意義のあるような差は認められず、術後早期死亡と術者と患者の性別一致には関連がなかった。

【コメント】 本論文は内視鏡手術に特化した報告ではないものの、ジェンダーギャップやダイバーシティが注目される現在、非常に興味深い報告であった。カナダのオンタリオで行われた 1,320,108 例の患者を対象とした試験では術者と患者の性別不一致は術後の有害転帰、死亡、合併症と関連した¹⁾。本研究は米国のさらに大規模なデータベースを用いて両者の関連を検討した報告であり、女性術者+女性患者で術後 30 日死亡がやや低下する傾向を認めたが臨床的に意味のある差がなかったと結論付けられ、約 300 万例近い患者データベースを用いて術者と患者の性別一致の影響を検討した本報告の意義は大きいと考えられる。女性術者で術後経過が良好な結果を得た理由として、考察では①女性術者のほうがガイドラインに忠実な傾向がある、②男性術者よりもリスクを避ける傾向がある、③患者とのコミュニケーションが良好で、術後ケアにより気を配る、④待機手術のみで差があることから、より少ない交絡因子で検討できた群である、が挙げられており、差が生まれる理由に関する検討は今後も大変興味のあるところである。私の領域である骨盤内開放

手術では非利き手での視野展開など力が必要になることも多い一方で、近年増加が著しいロボット支援手術では鉗子に加えられる力には性差がないため、女性術者にとってはより適した術式となる可能性がある。本検討では開放・内視鏡・ロボットの術式の差などは検討されておらず、術式を絞った場合の性別一致と手術成績の関連も興味深い。また、女性外科医が増えている現在、本邦での成績はどうなるかに関しても今後の検討が待た

れるところである。

- 1) Wallis CJD, Jerath A, Coburn N, et al : Association of surgeon-patient sex concordance with postoperative outcomes. JAMA Surg **157** : 146-156, 2022

成田伸太郎（秋田大学泌尿器科）